

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2016.12.8)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.95

■12月議会 野村の一般質問

いのちを守るまちづくり

1) 市民センター雑木林、90本伐採!

市役所敷地内の雑木林は元の公会堂別館建設時に「武蔵野の面影を残す」として造営された。



新しい防災公園の敷地内

には、法定駐車場の必要台数がなく、相撲場とその周辺の雑木林を伐採して仮設駐車場を整備することに?! 樹齢4~50年の木々を約90本も伐採してしまう。雑木林は様々ないのちが共生している生態系。切ってしまうと、例え雑木林を再生しても、今この木のいのちは還らない。

相撲場閉鎖、駐車場整備の告知はされたが、雑木林伐採のお知らせはない。樹木がいのちであり市民の財産だという認識がないことが問題。

2) 教育での男女平等参画推進

◆家庭教育学級や社会教育会館での講座で「男女平等意識の醸成」が達成と評価しているが、講座を開催、ではなく、意識の醸成ができたというアウトカム指標で評価すべきと指摘。また、問題があった場合に、同席した職員が注意喚起するなどができるかを確認。生涯学習担当部長が企画からチェックし、評価については検討すると答弁。



◆男女混合名簿も達成とされている。男女別ではなく、男子先名簿が日常使われている実態があると聞く。中学の体育などで、との答弁だが、日常的に混合名簿が位置づけられるよう指導をと念押しした。

◆性教育では、教育長が、被害にあっても自己肯定感が低くあきらめる場合があり、大人社会が認識し情報共有し、セーフティネットを高めたいと答弁。支援団体のリーフなどで情報共有をと要望。

3) 外環トンネル工事の安全性?

◆博多駅前トンネル陥没事故を受け、原因究明されるまで外環工事の中止を求めた。

市長答弁は、博多事故は国交省の有識者会議の検証を待つ。市の経営会議で土木の専門家である都市整備部長から情報共有があった、と。でも、その情報は市民に公開されない。広域まちづくり等担当部長は、地中拡幅部も工法が決定次第、国に丁寧な説明を求めると従来と変わらぬ答弁。

◆地盤変動調査の実施、地下水位調査結果のグラフでの公表、市HPでのリンク。さらに地盤沈下等被害があった場合の買取補償等。博多陥没断面図、地中拡幅部断面図、中央環状事象報告、千葉外環地下水位低下ニュース等、資料を掲げながら住民不安にどう寄り添うのか問うた。外環は国の事業だからと市長答弁。担当部長も、著しい影響があれば「対応の方針」に基づいて対応すると従来の答弁。残念ながら住民要求に対するまともな答弁ではない。



■12月議会予定

- 11月30日(水)本会議(一般質問)
- 12月1日(木)本会議(一般質問)
- 2日(金)本会議(議案上程、議案審議)
- 6日(火)議会運営委員会
- 7日(水)本会議(議案等審議)
- 8日(木)総務委員会
- 9日(金)厚生委員会
- 12日(月)文教委員会
- 13日(火)まちづくり環境委員会
- 14日(水)駅前再開発事業対策特別委員会
- 14日(水)調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
- 15日(木)東京外環道路調査対策特別委員会
- ※第2回請願・陳情締め切り(正午まで)
- 16日(金)議会運営委員会
- 21日(水)本会議(議案等審議)



収入		
報酬	9,448,000	月額55万＋期末手当
審議会等報酬	338,387	都市計画審議会、ふじみ衛生組合議会
旅費・日当	3,000	太宰治賞授賞式、東京都議会議長会研修会
合計	9,789,387	
支出		
税	3,289,152	所得税、住民税
保険料	982,220	国民年金、国民健康保険、生命保険等
議員互助会	22,000	改選のため6月～4月分
積立(議員報酬2重取り分)*注)	378,169	ふじみ、審議会報酬、期末手当増額分(税抜)
活動費	389,554	研修、会費、交流会、宿泊費他
事務費	201,854	通信費、プリンター購入、事務費
図書資料費	8,200	
交通費	387,385	岩国、名古屋、水上、姫路、奈良、沖縄他
いっしょの会会費	1,600,000	
ブラッシュアップ費	164,406	医療費他
生活費	2,366,447	家賃他
合計	9,789,387	

■厚生委員会視察10/24, 25

★尾道市公立みつぎ総合病院。1984年に出前医療を始め、地域包括医療・ケアを提唱し、実践して来た病院。保健センター、地域包括支援センターも併設し、多職種による支援。リハビリも急性から在宅まで対応。



★豊明市 地域包括ケアシステム。

豊明団地での、行政と藤田保健衛生大学とURとの連携による「まちかど保健室」「北部地域包括支援センター支所」。学生・職員の団地居住・地域貢献の取り組み。大学が多職種連携事業を受託し、同職種連携団体の事務局も担う。在宅ケア、認知症初期集中チームはICTシステムで、個別チームで情報共有し、連携を進めているなどの実践を伺った。三鷹でも実現可能ではと、可能性を感じる実践だった。

■ふじみ衛生組合議会10/27, 28

☆久留米市宮の陣クリーンセンター。6月に稼働を始めた2炉163tの焼却施設。ペットボトルのラインは障がい者施設に委託。野田市もそうだったが、人件費が安いのか、人手の確保が確実なのか。確認しそびれた。



☆27日夕方、熊本に到着。ホテルは熊本城のすぐそば。夕食までの合間に、ぱたぱた歩いて立ち入り禁止の熊本城を1周。石垣の破損を確認。やっぱり被害の大きさ、深刻さを実感。

☆熊本市西部工場。今年3月に稼働開始。直後の被災。避難所として一時300人を収容。建物・設備にはほとんど



被害がなかったが、周辺が地盤沈下して段差ができた。収集車の計量器やランプウェイの段差を応急修理した。メインの東部工場が被災したため、フル稼働を続けている。

*注)ふじみ衛生組合議会308,569円+いっしょの会バザー収益7,310円を、5/7に熊本震災支援として市外の7団体へ寄附。残額69,600円は繰越



(公財)共生地域創造財団	50,000
日本YWCA	50,000
コムスタカ 外国人と共に生きる会	50,000
アトピッツ地球の子ネットワーク	50,000
全国フードバンク推進協議会	50,000
被災地の子どもを支援する神奈川県市民の会	50,000
ピース・ウィンズ・ジャパン	15,000
振込手数料	2,246
	317,246

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No95
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail:issyonokai@nomura-yoko.net
Url:http://www.nomura-yoko.net
Twitter: @hitujinomura



